ときの玉手箱

～博物館からのメッセージ～

第261回

能の役柄とその装い ―竜神の装束―

室町時代前期（15世紀前半）に大成された能は、500年以上におよぶ長い歴史を持つ芸能です。この長い歴史の中で数多くの演目が作られ、演じられてきました。現在、上演可能とされる演目は150曲以上。これらの演目には、老若男女、貴族、武士、僧侶、さらには神や精霊、亡霊、怨霊、鬼、妖怪など実にさまざまな役が登場します。

能では、この役柄ごとにその装い、すなわち使用する面や装束、小道具の種類がおおよそ決まっています。勇猛な武士ならば力強く雄々しい装い、年かさの女性ならば品のある落ち着いた装いというように、その役柄にふさわしい組み合わせが定められているのです。この装いのことを「出立」ともいいます。

出立の印象を決定づける重要な要素の一つが装束です。能装束には大きく分けて男性役が使用するものと、女性役が使用するものとがあります。男性役は竜や獅子、雷、亀甲といった、中国から伝わった唐様の力強い文様が表された装束、女性役は四季の草花や蝶、扇などの和様の優美な文様が表された装束を用います。また、地色や文様に紅を用いた華やかな「紅入」と、紅を使用しない「紅無」の区別があり、紅入は若い役柄に、紅無は中年などの役に使用するのが、基本的な能装束の決まりです。

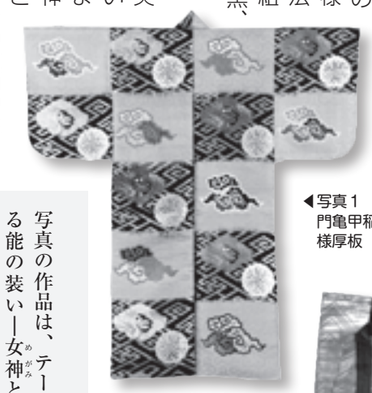
加えて、能装束は用途によって、表着、着付、袴などに分けられます。一番上に身に着けるのが表着、表着の下に着用するのが着付で、男性役なら表着は狩衣や法被など、着付は厚板や熨斗目となります。袴にも半切、大口などの種類があります。このような基本的な決まり事と用途に基づいて、役柄ごとに装束が定められているのです。

ではここで、「竹生島」や「春日竜神」などの演目に登場する男性役の一つ、竜神の装束を紹介しましょう。竜神は水中に住むとされる水や雨をつかさどる神で、仏法の守護神ともされます。この役の出立は、頭に背中までである赤色の仮髪をつけ、面は竜神を表す黒髭、装束の表着は法被、着付は厚板、袴は半切とし、法被は右肩を脱ぎ下げる着方とすると定められています。そして仮髪の上には、竜神であることを象徴する竜の立物を戴きます。

この竜神の装いでしばしば用いられるのが、竜や竜を連想させる波、雲、稲妻の文様を表した装束です。例えば、紅地に飛び交う雲、金の稲妻文様を表した黒地に波と竜を配した厚板（写真1）、丸竜が表された紅地の半切（写真2）を身につけ、さらに、厚板の上に金糸で亀甲文様や雷文様を表した法被を着るといった組み合わせです。紅、黒、金の明快な色合いに、竜や雷、雲の大ぶりな文様が目を引く実に力強い印象の装いといえるでしょう。また、装束の文様を竜神を連想させるものとすることで、より一層その役柄の性質や特徴を際立たせる効果を上げているのです。

このように、能では、面だけでなく装束の組み合わせによってさまざまな役柄の特徴を表現しています。能を見る機会がありましたら、ぜひその装いにも注目してください。

（彦根城博物館学芸員　茨木恵美）



◀写真1　紅黒段替毟沙門亀甲稲妻雲竜波丸文様厚板

▶写真2　紅地綾杉に丸竜文様半切

写真の作品は、テーマ展「華麗なる能の装い―女神と鬼神―」で、5月11日㈮～6月12日㈫まで展示します。（5月26日㈯は休館）

博物館だより

彦根城博物館 ☎ 22-6100・FAX 22-6520
URL　http://hikone-castle-museum.jp/

開館時間　8：30～17：00（入館は16：30まで）

特別公開

5月8日㈫まで

「国宝・彦根屏風」

近世初期風俗画の傑作、国宝・彦根屏風を特別公開します。

テーマ展

5月11日㈮～6月12日㈫

「華麗なる能の装い―女神と鬼神―」

能では、演じる役柄によってその装い、身につける面や装束、鬘（かずら）、冠（かぶ）り物などがおおよそ決まっています。

さまざまな装いの中から、若く美しい女神、荒々しい力を持つ鬼神を紹介します。能面と色鮮やかな装束、小道具の取り合わせの妙をご覧ください。

◀能面　増女（元休満茂作）

ギャラリートーク　観覧料が必要
5月12日㈯　11:00～11:30、14:00～14:30
※事前申込:不要　場所:展示室1

常設展示の名品

― 常設展示の名品 ―

“ほんもの”との出会い

常設展示「“ほんもの”との出会い」では、譜代大名筆頭・井伊家に伝来した名宝を中心に展示を行っています。

6月11日㈪まで

「和歌短冊手鑑」

▲和歌短冊手鑑

和歌短冊78枚を貼りこんだ作品集。各短冊には、鑑定された筆者名を記した紙札が添い、そこには、後柏原院（ごかしわばらいん）と後陽成院（ごようぜいいん）を筆頭に、先二条殿（さきのにじょうどの）、近衛殿（このえどの）など、公家衆の名前が多く見受けられます。

■臨時休館のお知らせ　5月26日㈯
■5月9日㈬、同10日㈭は展示替えのため一部閉室しています。

文化プラザだより

チケットのお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター　☎27-5200（9:00～19:00）
インターネットでも購入いただけます。https://bunpla.jp/

チケット発売情報

8月9日㈭ 15:00　グランドホール

劇団四季ファミリーミュージカル

『魔法をすてたマジョリン』

今年の劇団四季は、親子で楽しめるミュージカルです。主人公の魔女・マジョリンが人間と出会い、思いやりの心や「ありがとう」の気持ちを学んでいく物語。夏休みの思い出に家族そろってお越しください!

指定
【5月26日㈯9:00～予約開始】
一般　S席大人 4,500円、中学生以下 3,000円
　　A席大人 3,500円、中学生以下 2,000円
【5月19日㈯9:00～予約開始】
友の会　S席大人 4,100円、中学生以下 2,700円
　　A席大人 3,100円、中学生以下 1,800円

※3歳以上有料。
3歳未満は入場いただけません。
※託児サービスがあります（有料／要予約）。

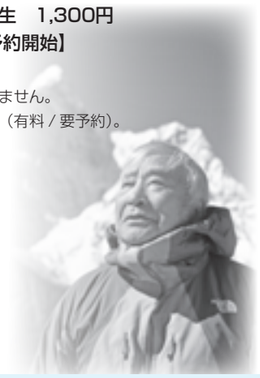
撮影：荒井健

9月30日㈰ 14:00　グランドホール

ひこね市民大学特別講座

三浦雄一郎講演会「高齢化社会におけるチャレンジと夢」

指定
【6月23日㈯9:00～予約開始】
一般　1,500円
高齢者・障がい者・学生　1,300円
【6月16日㈯9:00～予約開始】
友の会　1,200円
※未就学児は入場いただけません。
※託児サービスがあります（有料／要予約）。



プロスキーヤーで冒険家の三浦雄一郎が、世界最高齢でエベレスト登頂を果たすなどの豊富な経験から、「チャレンジ」「夢」の大切さについて語ります。ここでしか聴けない、貴重な話が満載の講演会です。

【各公演 発売初日の予約の取り扱い】
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

5月の休館日　1日㈫、7日㈪、14日㈪、21日㈪、28日㈪

◎表記のチケット価格は、全て税込価格です。
◎託児は、子ども（劇団四季:0～2歳、三浦雄一郎講演会:未就学児）1人1,000円です。公演の10日前までにお申し込みください。
◎高齢者（65歳以上）・障がい者・学生のチケットはひこね市文化プラザチケットセンター窓口のみの取扱。身分証明書要提示。